

平成24年度

”札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート”

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成22年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート	報告者:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	2013/1/21
-------------------------------	--	-----------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
＜テーマ＞ 「住んでよし訪れてよしの都市空間」 ＜活動方針＞ 地域から積極的に情報発信。日本全 国。世界から訪れる全ての人々を温かくお もてなしする。		紙媒体等による広報	1	・「花」「学びと体験」「歴史・文化」 マップの配布 ・雪あかりイベントのPR(チラシ)	ルート運営代表者会議	通年	約5,000部		地域資源をカテゴリー(「花」「学びと体験」「歴史」)別に紹介したマップは、今年で4年目の配布となるが好評であるが、在庫にも限りがあるため、本年度はより効果的なPR効果があると思われる箇所に配布・提供し、周知徹底を行った。 また、毎年、各地域で雪あかりイベントを実施する。開催時期が違うため周知徹底が難しく、周遊いただくための工夫としてチラシ(同様のポスター)を作成し、区内各所および地下歩行空間等で配布した。デザインはルートメンバーの札幌市立大学が担当。
		ホームページ等による情報発信	2	指定ルート認定による ルートホームページの改修・更新	ルート運営代表者会議 札幌市南区役所	通年 (現在作成中)	－		ホームページでの情報発信を充実させるため、これまでのルートのHPを改修。新たなHPでは、「見やすさ」「親しみやすさ」を重視した上で、各施設でのイベントなど動画による配信などもできるように作成検討中。作成はルートメンバーである東海大学が担当。(※1月現在作成中)
			3	ホームページでの イベント情報投稿フォームの開設	ルート運営代表者会議	通年(継続)	－		また、地域の身近な活動を伝えるため、各活動団体が直接更新できるブログを昨年度開設。昨年以上に頻繁に更新し、イベントのあるなしに関わらず、各施設での日々の状況なども公開した。更新頻度が上がるにつれてアクセス数も増加し、より効果的な周知方法であると感じた。
			4	ルートブログによる情報発信	ルート運営代表者会議	通年(継続)			
			5	南札幌エリア フリーペーパー「SAN」による情報発信	東海大学	平成24年7月発行(更新)	－		「SAN」は、東海大学の学生が取材・作成する情報誌で、地域のコアな情報が満載であるが、不定期発行となっているが、本年度、第五号の発行を実験的にホームページにて発信。
		様々な手法によるルートの魅力PR (PRグッズ、PRマップ等の作成、各イベント等でのルートPRなど)	6	「札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2013」の作成・配布	ルート運営代表者会議	平成24年9月初旬～3月末頃まで	15,000部	S A 1	昨年度、ルート指定を記念として、ルート内の魅力的な景観や集客施設を集めたカレンダーを作成したが、大変好評であったため、今年度も作製した。企画・制作は、ルートメンバーによる「カレンダー作製委員会」を中心に行った。また、今後の取り組みの参考とするため、カレンダーにアンケート用紙を付け、効果検証を行う予定である。(2月まで回収→その後集計)。ルート内の施設、南区役所、連合町内会及び区内の小中学校などを通じて15,000部を配布した。
			7	缶バッジの配布	ルート運営代表者会議	随時 (各種PRイベント実施日などにて配布)	(アンケート記載者に対し、約700個配布)		札幌ルートスタンプラリー用にデザインされたスタンプイラスト活用した缶バッジを、ルートメンバーの滝野すずらん丘陵公園と保養センター駒岡でのイベント会場に設置したルートPRブースで配布した。(ルート活動の認知度等を調べるためのアンケートに回答した方のみの配布)
			8	ルート「ロゴマーク」の作成	ルート運営代表者会議 札幌市南区役所 札幌市立大学	平成24年7月～3月末 (現在作成中)	－		ルートメンバーから「ロゴマーク」の表現してほしい内容・イメージの意見をもらい、テーマを絞り、札幌市立大学内で学生ヘデザインを公募。応募された案を元に、案を考え作成する。 現在、作成中であるが、次年度以降の広報媒体やイベント時、各ルート団体での活用など、ルートをPRする素材として有効的に活用していきたいと考える。また、今後はマークの使用についてのルール(規定)など、ルート代表者会議にて検討をすすめていく。
			9	地下歩行空間「シェルフ・バイウェイ」を活用したPR	札幌開発建設部、(+シーニック全道各ルート)	通年	－		札幌駅前通地下歩行空間にてほぼ年間を通じて札幌開発建設部が主催する展示企画に参加し、ルート活動のポスターの展示やチラシの配布などを行い、広くPRした。スタンプラリーや雪あかりの取組などルート全体のPRはもとより、各活動団体のポスターやちらしの配布、ルート特産物の展示を行いルートの魅力を紹介した。
			10	地下鉄真駒内駅へのシーニック情報専用掲示板を活用したPR	ルート運営代表者会議、 札幌市南区役所	通年	－		昨年度から南区役所の協力による地下鉄真駒内駅のシーニック専用情報掲示板では、ルートで作成したパンフレットやポスターを掲示し、ここでも活動PRを行った。次年度以降も有効的に活用していきたい。
			11	地下鉄及びJR車内中吊り広告掲示	ルート運営代表者会議 札幌市南区役所 札幌市立大学	平成25年1月	－		ルートの認知度向上と雪あかりイベントのお知らせを目的として、1月中旬の約1週間、中吊り広告を展開。広告媒体の選定から企画・デザインまで札幌市立大学の学生を中心に行った。
			12	広報さっぽろ南区版H24年8月、12月、H25年1月号での紹介	札幌市南区役所	平成24年8、12、平成25年1月	約67,000部 ×3回		札幌市南区役所の協力により、広報さっぽろ南区版にて札幌シーニックバイウェイの取り組みが紹介された。
		その他	13	地域アンテナショップ「サロス」	藤野中央商工振興会他	平成25年2月(予定)	－		ルートメンバーの藤野商店街振興組合等による空き店舗を活用した事業として、南区を中心とした特産品の販売や地域の情報を発信する場のアンテナショップを開設(予定:2月)。
			14	災害対応道路規制情報提供の発信	ルート運営代表者会議、札幌開発建設部	平成24年5月中旬～	－		5月中旬に、土砂崩れにより中山峠が通行止めとなり、地下鉄真駒内駅掲示板等で、チラシの配布・ポスターを掲示し、情報発信を行った。道路利用者に対しリアルタイムで確かな情報を伝え、広報した功績により、12月7日札幌開発建設部長より感謝状を贈呈いただいた。区内外に対するこういった災害対応の情報発信は、大変重要であると感じた。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:札幌シーニックパイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者:札幌シーニックパイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	2013/1/21
-------------------------------	--	-----------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
景観	＜テーマ＞ 「札幌の玄関口にふさわしい魅力あふれる景観づくり」 ＜活動方針＞ ・眺望の優れた場所の整備と活用 ・広域的な花街道づくりとPR ・広域的な幻想空間の創出とPR	モニターツアーの実施(景観)	15	—	—	—	—		これまでの事業効果を検討した結果、一定の役割を終えたと判断されたため、昨年度をもって事業終了とした。
		花いっぱい運動	16	各地区による沿道花壇の整備	連合町内会ほか、ルート参加団体	春～秋期間 (5～10月頃)	—		毎年各地域(各団体)では、沿道花壇への花植活動を継続的に行っている。区外から来られる方への「おもてなし」とともに、自分たちの地域をより美しくしたい気持ちから活動しているため、良好な沿道景観の形成はもとより、活動を通して地域内外の繋がりが(連携)が広がっている。 苗ポット数の減少や人材・費用面の問題等もあるが、今後も継続的に実施をしていきたい。
		各地域での「雪あかり」の取り組み、PR	17	『石山スノーファンタジー』 (雪あかりイベント)	石山スノーファンタジー 実行委員会(石山地区 町内会連合会、まちづく り協議会)	平成24年12月8日(土) ～平成25年2月28日(木)			「雪あかりイベント」として12月～2月末の期間中にルート内各地で、各団体がそれぞれアイスキヤンドルの製作やイルミネーションなどで沿道や公園等を灯りで灯すと同時に地域の人々が集うイベント等を開催した。活動を継続することで地域の活動として年々認知が進んできている。シーニックの活動前は、個別地域でのイベントとして実施していたため、PRも個別、情報共有などもなかったが、シーニックの部会等での情報交換により、開催時期はバラバラであっても、一緒にPRしていくことで相乗効果があると考え、広報を一緒にすることを二年ほど前から始めたところである。 各団体の場所や実施期間をルートの連携イベントとしてとりまとめ統一的にPRするため、札幌市立大学に協力を依頼しポスター、ちらしを作成。昨年に引き続き、市内各所及び近郊の道の駅等で掲示した他、今年は、地下鉄及びJRで1週間にわたり中吊り広告を出し、シーニックパイウェイの活動としての積極的な周知活動を行った。そのためもあってか、参加者数が前年度に比べて増えており、広報効果があったように感じる。また、詳細な人数の把握はしていないが、地域外にも活動が認知され、実際に雪あかりの活動を見にルートを訪れた方もいたようである。 各地域でのイベントへの参加スタッフ(※全て延べ人数を表記)も多く、地域イベントとしても定着化していているように思われる。 今後もルートの連携イベントとして活動を継続すると同時に、積極的なPR活動に取り組んでいきたい。
			18	『真駒内地区ふれあい雪あかり』 (雪あかりイベント)	真駒内地区連合会	平成25年1月25日(金)～28 日(月)	スタッフ 200名／来 場者 1000 名		
			19	『藻岩地区アイスキヤンドル』 (雪あかりイベント)	藻岩地区町内会連合会	平成25年1月26日(土)、27 日(日)	スタッフ 4500名／来 場者 2000 名		
			20	『南沢地区冬まつり』 (雪あかりイベント)	南沢地区町内会連合会 、まちづくり協議会	平成25年1月26日(土)、27 日(日)	スタッフ 100名／来 場者 300名		
			21	『スノーフェスティバルin澄川』 (雪あかりイベント)	澄川地区連合会	平成25年2月2日(土)、3日 (日)	スタッフ 50 名／来場者 500名		
			22	『定山溪温泉雪灯路2013』 (雪あかりイベント)	定山溪温泉雪灯路2013 実行員会 (〔社〕定山溪観光協会、 定山溪地区連合町内会 他)	平成25年2月5日(火)～11 日(月・祝) ※悪天により7・8日は中止	ボランティア スタッフ 20 4名／来場 者 4612 名		
			23	『藻岩下やさしい雪あかり』 (雪あかりイベント)	藻岩下地区やさしいま ちづくり実行委員会(藻 岩下地区連合会)	平成25年2月9日(土)、10 日(日)	スタッフ 360名／来 場者 970名		
			24	『芸術の森地区「雪あかりの祭典」』 (雪あかりイベント)	雪あかりの祭典実行委 員会(芸術の森地区連 合会、札幌市立大学、 保養センター駒岡、札幌 芸術の森他)	平成24年12月17日(月) ～平成25年2月11日(月・ 祝)	スタッフ 300名／来 場者 4000 名		
		その他	25	『南沢ラベンダーまつり』	南沢ラベンダーまつり実 行委員会(南沢地区ま ちづくり協議会、南沢地 区町内会連合会、東海 大学他)	平成24年7月21日(土)、22 日(日)	約1,700人		
			26	地域で育む美しいまちづくりフォーラ ム	石山地区まちづくり協議 会	平成24年12月18日(火)	主催者:4 人 参加者:約 30人		より多くの方に南区に訪れていただくため、豊富な地域資源を活かした美しい景観づくりを目指し、有識者をお招きし、景観に関する勉強会を開催した。ルートの魅力向上(景観向上)に向け、他地域での沿道景観や看板設置等の検討事例など、大変参考となり、参加者間での共通認識を持つことができ、大変有効的な開催であったため、今後も継続的に実施していきたいと考える。
			27	地域の景観資源の発掘とPR	ルート運営代表者会議	継続検討			そば畑や桜の森など、まだあまり知られていないルート内の美しい景観資源の活用や保全に努め、ルートの魅力としてPRする手法などを検討した(部会等の中で随時検討。)

ルート名称:札幌シーニックパイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者:札幌シーニックパイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	2013/1/21
-------------------------------	--	-----------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
地域	<テーマ> 「自然・歴史・文化を伝え、いきいきと暮らせる地域づくり」 <活動方針> ・環境の保全と活用 ・おいしく安心な食材のPR、地産地消の推進 ・交流と賑わいの創出 ・多様な媒体を活用した情報の発信 ・歴史、文化の紹介 ・健康で安心して暮らせるまちづくり	モニターツアーの実施(地域)	28	-	-	-	-		これまでの事業効果を検討した結果、一定の役割を終えたと判断されたため、昨年度をもって事業終了とした。
		地域一斉ゴミ拾い運動	29	『ラブアース・クリーンアップin北海道2012』への参加	ルート運営代表者会議 (各団体名で参加)	平成24年4月～11月	ルート参加 団体合計 約850人		各地域・団体で清掃活動を行ってきたが、ルート全体の取り組みとして「ラブアース・クリーンアップin北海道2012」に参加。 主催者側のサイトで参加団体の活動状況を発信しているため、ルート活動のPR効果もある。良好な沿道景観形成を目指す取り組みにも繋がるため、今後も継続的に実施を行っていくとともに、ルートとしてもブログなどによるPRを行っていきたいと考える。
		札幌南オータムフェスティバル	30	商店街との連携による取り組み 『札幌南オータムフェスティバル』	ルート運営代表者会議、札幌市南区商店街 連絡協議会、札幌商工会議所豊平支所 他	平成24年9月16日(日)、17 日(月・祝)	主催者:15 人、一般参加:2日間 延べ11,734 人 (アンケートより)	S A 2	ルート活動のPRのため、シーニッククイズの実施、地域特産品やグッズ等の販売、パネル展示、ルート内商店街との連携による出店などを行った。天候もよく、昨年度より多くの方に参加いただき、来場者に対しルートの魅力を広くPRできた。 ※入園者 1日目:5140人、2日目:6594人
		自然散策、森林浴	31	自然散策、森林浴	定山溪観光協会ほか、 ルート内各団体	随時	-		ルート内各団体により実施。 ルートとしての統一的なPRや団体間の連携が今後の課題。
		農業体験、果物狩り	32	農業体験、果物狩り	八剣山発見隊ほか	随時	-		
		各種イベントでの農産物販売 (朝市の開催ほか)	33	『もりの仲間のこまおか朝市』	札幌市保養センター駒岡	平成24年5月～11月までの 毎月第2・4日曜日開催	一般参加:各 開催毎 100 ～250人(天 候による)		新鮮な地元野菜や特産品の販売など、各地域(活動団体)で実施。 生産者と直接会話しながらの購入となるため、リピーターが多く、また、それぞれの地域において、地域の特徴・旬の素材などに合わせて工夫を凝らした内容で実施している。どの会場においても参加者が多いことから、継続した活動と連携を目指し、今後も積極的に実施していきたい。活動方針の「交流と賑わいの創出」の面からみても十分に満たしている事業であるとする。
			34	『ショッパーズ石山朝市』	石山商店街振興組合	平成24年4月～11月までの 毎月第1・3土曜日開催	一般参加: 各開催毎 約100名		
			35	『もいわした朝市』	藻岩下地区連合会ほか	平成24年5月15日、6月5 日、7月3日、9月4日、10月2 日、11月6日※全て日曜開 催	一般参加: 各開催毎 約100名		
			36	『森の朝市』	朝市クラブ	平成24年7月～9月の第1・3 の日曜、10月の第1・3・5の 日曜	一般参加: 各開催毎 約100名		
		その他	37	芸術の森地区の環境保全等の事業	芸術の森地区連合会	平成24年5月～11月	—		豊かな緑(森)とアートとの融合した地区である芸術の森地区での美化活動として、不法投棄防止に向け、地域内で環境保全のための手法検討を進めた。美しいまちづくりをめざし、今後も継続的に実施していきたいと考える。
			38	八剣山周辺のレンタサイクル事業	ぶどうの会 他	平成24年6月～10月	約80人		本年度初の取り組みとして、地域の魅力を肌で感じ、体験してもらいたいと考え、八剣山周辺の果樹園や森林、歴史的建造物、お立ち寄り所などとあわせ、手軽に楽しめる自転車コースの紹介などを載せた「八剣山ちやりまっぷ」を、ぶどうの会・八剣山ワイナリーで作成し、レンタサイクル事業も展開した。 レンタルされる利用者はまだ少なく、周知方法なども検討が必要であるとする。
		地域特産物を活かした賑わいづくり	39	地域特産物を活かした賑わいづくり	八剣山発見隊ほかルート 内各団体	継続検討	-		地域でとれる野菜や果物を活用して、地産地消の推進と果物狩りやフォーラムの開催など、地域の賑わいづくりを検討し実施を目指す。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:札幌シーニックパイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者:札幌シーニックパイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	2013/1/21
-------------------------------	--	-----------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光 空間	<テーマ> 「札幌の奥の深さを感じる滞在型の観光空間づくり」 <活動方針> ・体験メニューの拡充(自然体験、健康、学習) ・集客施設の回遊性向上 ・特産品の開発、PR	モニターツアーの実施(観光)	40	-	-	-	-		これまでの事業効果を検討した結果、一定の役割を終えたと判断されたため、昨年度をもって事業終了とした。
		スタンプラリーの実施	41	『札幌シーニックパイウェイ スタンプラリー2012』	ルート運営代表者会議	平成24年4月28日(土)～10月31日(水)	応募総数1,745通	S A 3	4回目の実施となるが、今年度は18か所中の3スポットから応募が可能。スタンプの数により選べる景品が違う。年々、応募者数が増加していることから、スタンプラリーの認知度も向上し、且つ、ルートの取り組み・美しい景観・地域特産品・各施設等への周知にも繋がっていると考える。今年度は、ルート外からの集客に重点を置き、道内全ての道の駅や首都圏での配布に力を入れた。 ラリー参加者や参加施設の意見などから、内容の充実と、より効果的なチラシ配架等の検討を行い、継続的な実施を目指したい。
		地域特産品のブランド化	42	『定山溪温泉たまねぎすうぷ』	(社)定山溪観光協会	通年	-		いずれも売り上げ好調で、認知度の向上がうかがえる。 今後も、地域連携を図りながら地域のブランドとしての新たな地域特産品の開発を目指した企画検討をすすめていきたい。
			43	『温たま塩ぷりん』	(社)定山溪観光協会	平成24年10月 ※土日限定販売	各回60個		
		森林教室	44	森林教室	ルート内各団体	夏期間	-		定山溪の小中学生などを対象とした森林教室などを実施した。
		外国人観光客への対応	45	-	-	-	-		
		その他	46	『夏休み特集号 寄り道ドライブで感動・体験 自由研究のヒント』の作成・配布	ルート運営代表者会議、支笏洞爺ニセコルートウエルカム北海道エリア、南区、札幌開発建設部、他	平成24年6月～8月	-		隣接するルート「支笏洞爺ニセコルートウエルカム北海道エリア」と札幌開発建設部と協力しあい、沿道景観保全活動や道路の役割など、写真等とあわせてわかりやすく説明をいれ、また、各ルート内のイベントや体験講座、ルートの魅力的な地域資源を集め、小学生の夏休み自由研究のヒントとして紹介し、ル体験学習情報ガイドブックとして作成し、ルート内の小学校やシーニックに関するイベント(新千歳空港イベント等)等で配布した。 また、回遊性向上及び季節ごとに変化のある地域資源の魅力を発信することを目的に、活動団体の連携による期間限定のかっぱバスの運行、区内を歩くウォーキングイベントを実施した。 「紅葉ゴンドラ」については、今年で3年目となり、年々増加していることから、秋の観光名所となりつつある。 どの企画においても、ルート内の他施設・資源を繋げ、回遊してもらう工夫をし、地域に人が入ってくる仕組みを模索していくことが重要であると考え、これらの取り組みを活かし、今後も継続的に実施したい。
			47	『定山溪かっぱウォーク』の開催	(社)定山溪観光協会	平成24年9月2日(日)	-		
			48	『定山溪紅葉かっぱバス』	じょうてつバス、(社)定山溪観光協会	平成24年10月1日(月)～21日(日)	-		
			49	札幌国際スキー場 『紅葉ゴンドラ』	(株)札幌リゾート開発公社	平成24年9月15日(土)～10月14日(日)	-		

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SA - 1

SAPPORO Scenic Byway Moiwa sanroku Jozankei Route

活動名：札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2013

【概要】 当ルートがシーニックバイウェイ北海道のルートとして認定された記念として、ルートの魅力を広くPRするとともに、シーニックバイウェイの活動を周知することを目的として、昨年度、ルートの取り組み（沿道景観保全等）、集客施設、景観スポットなど、ルート内の魅力的なスポットの写真を使用したカレンダーを作成・配布した。大変好評であったため、本年度よりルートメンバーによるカレンダー作製実行委員会を設置し、ルートイベント情報なども取り入れ、作成した。デザインは札幌市立大学学生によるもの。また、本年度は本取り組みに対するアンケート調査を実施し、今後の参考とするため効果検証を行う。（1/21現在：約100通回収）

【日時】 企画検討：平成24年9月～12月／配布：平成24年12月中旬～

【場所】 ルート内各地、関係各機関 他

【作成・発行】 札幌シーニックバイウェイ
藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議

【発行部数】 15,000部



各月毎にその時期にルートで開催されているイベントやお薦めスポットを紹介



札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SA - 2

SAPPORO Scenic Byway Moiwa sanroku Jozankei Route

活動名：札幌南オータムフェスティバル

【概要】 ルートの活動団体である滝野すすらん丘陵公園でルートの魅力をPRするイベントを実施。ルートの活動紹介（チラシ配布・パネル等の設置、缶バッジの配布など）の他、ルート活動団体が地域の商店街等と連携し、野菜やルート特産物の飲食・販売コーナー、定山溪温泉の湯を持ち込んだ「足湯コーナー」を設置、ルート内のご当地キャラクターの豪華共演（5種）など、バラエティーに富んだ内容で、ルートの魅力を公園来場者にPRした。

事前告知として滝野すすらん丘陵公園では、市内ほか小学校等に23万部配布される公園イベント周知のためのチラシ、また、札幌、北広島、江別等64万戸に配布される北海道新聞折り込みチラシ、公式サイトなどで情報発信を行った。

入園者数も連日5,000名（16日：5140／17日：6596）を超え、イベントも大勢の来園者で賑わった。

【日時】 平成24年9月16日(日)・17日(月・祝)

【場所】 国営滝野すすらん丘陵公園

【主催】 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓
・定山溪ルート運営代表者会議、
国営滝野すすらん丘陵公園、
札幌市南区商店街連絡協議会 ほか



札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SA-3

SAPPORO Scenic Byway Moiwa sanroku Jozankei Route

活動名：札幌シーニックバイウェイ スタンプラリー2012

- 【概要】 平成24年4月末から10月末までの6ヶ月間、定山溪温泉、滝野すすらん丘陵公園など、ルート内全18スポットを巡るスタンプラリーを実施。各スポットの他、札幌駅の観光案内所や札幌駅前通地下歩行空間、新千歳空港、JTB首都圏主要30店舗のほか、公共施設、ルート内飲食店等にチラシを配架した（約47,000部）。
- 昨年が好評だったが、より参加しやすくするため、3箇所以上から応募できるようにした。ルートの特色をアピールするよう温泉入浴券、地域特産品となる景品等を用意し、より多くの方に景品があたるよう150名分に増やした。結果、応募人数が1700名を超え、昨年度と比べ1.7倍の応募となった。応募数が増加した原因は、応募最低必要スタンプ数を10個以上から3個以上に引き下げたためと考えられ、より多くの方の参加へと繋がった。
- 【日時】 平成24年4月28日～10月31日
- 【場所】 ルート内18カ所の集客・観光施設等
- 【主催】 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議

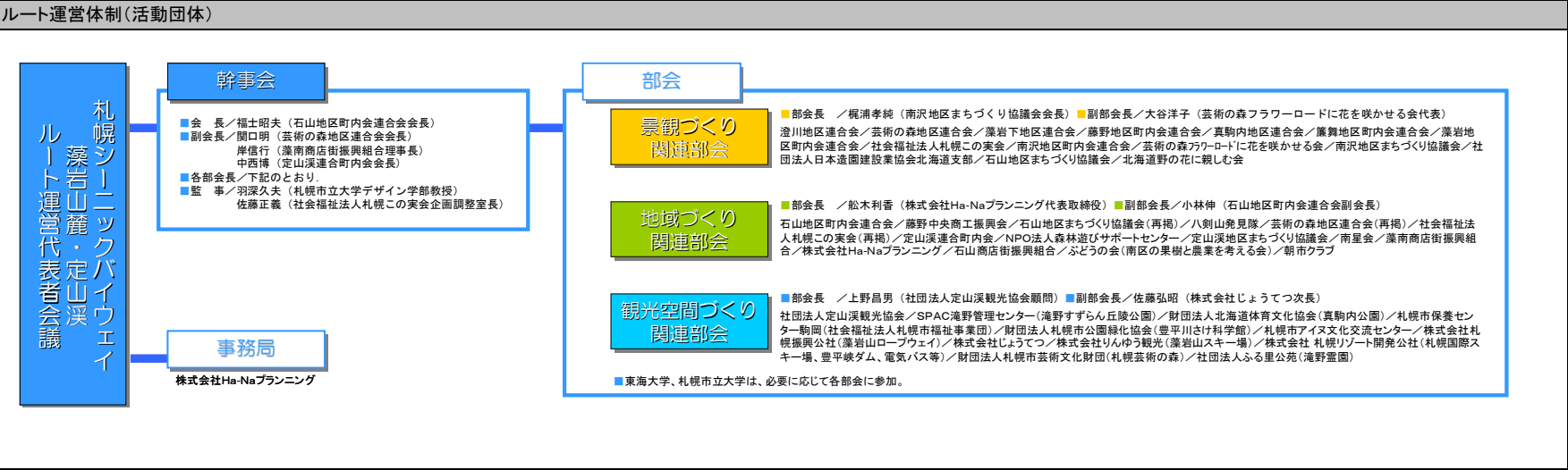


昨年は改修工事のため間に合わず、本年度実施から新しく仲間入りした藻岩山展望台のスタンプ

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート	報告者: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	報告年月: 2013/1/21
--------------------------------	---	-----------------

活動団体
澄川地区連合会／芸術の森地区連合会／藻岩下地区連合会／藤野地区町内会連合会／真駒内地区連合会／篠簾地区町内会連合会／藻岩地区町内会連合会／社会福祉法人札幌この実会／南沢地区町内会連合会／芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会／南沢地区まちづくり協議会／社団法人日本造園建設業協会北海道支部／石山地区まちづくり協議会／北海道野の花に親しむ会／石山地区町内会連合会／藤野中央商工振興会／石山地区まちづくり協議会(再掲)／八剣山発見隊／芸術の森地区連合会(再掲)／社会福祉法人札幌この実会(再掲)／定山渓連合町内会／NPO法人森林遊びサポートセンター／定山渓地区まちづくり協議会／南星会／藻南商店街振興組合／株式会社Ha-Naプランニング／石山商店街振興組合／ぶどうの会(南区の果樹と農業を考える会)／朝市クラブ／社団法人定山渓観光協会／SPAC滝野管理センター(滝野すずらん丘陵公園)／財団法人北海道体育文化協会(真駒内公園)／札幌市保養センター駒岡(社会福祉法人札幌市福祉事業団)／財団法人札幌市公園緑化協会(豊平川さけ科学館)／札幌市アイヌ文化交流センター／株式会社札幌振興公社(藻岩山ロープウェイ)／株式会社じょうてつ／株式会社りんゆう観光(藻岩山スキー場)／株式会社 札幌リゾート開発公社(札幌国際スキー場、豊平峡ダム、電気バス等)／財団法人札幌市芸術文化財団(札幌芸術の森)／社団法人ふる里公苑(滝野霊園) (計: 40団体)



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議(全体会議)			● 6/7										
	幹事会		● 5/14				● 9/3							他、●11/7道央・道南ブロック会議(会場: 南区定山渓温泉)
	各関連部会						H24第1回 ●9/20地域 ●9/26景観	H24第1回 ●10/3観光				H24第2回 ●2/22景観 ●2/13地域 ●2/19観光		

ルート名称: 札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山渓ルート	報告者: 札幌開発建設部	報告年月: 2013/1/21
---------------------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議								●11/9 ※支笏洞爺ニセコルートと合同開催					

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
共通	<テーマ> 「住んでよし訪れてよしの都市空間」 <活動方針> 地域から積極的に情報発信。日本全国。世界から訪れる全ての人々を温かくおもてなしする。	「花」「学びと体験」「歴史・文化」マップ、雪あかりイベントPR(チラシ)等の配布協力	平成24年12月～	札幌市、札幌開発建設部	ルート内公共施設、地下歩行空間「シェルフバイウェイ」にて配布。関連する各イベント毎のチラシ等も配布。市内各地で配布。 3種のマップは、本年度で4年目となり、「シェルフバイウェイ」のほか、行政連絡会議を通じて関係行政機関にも配布。	本年度は、通年を通して地下鉄真駒内駅および地下歩行空間で情報発信支援ができたため、ルート情報の周知徹底できたように考える。 情報発信媒体として、ネット配信の場合はその場に居なくても情報をいつでも入手することができるが、今後の課題としては、高齢者等、ネットをあまり使用しない人達への情報提供のあり方について、検討を進めたい。また、今回の災害対応情報提供のように、情報発信のタイミングなども重要であるように考える。	1
		ルートホームページのリニューアル、イベント情報投稿フォームの開設、ルートブログの開設と情報発信における企画運営、PR協力	通年	札幌市	シーニックの取り組みについての周知徹底、地域の顔の見える情報提供を行うため、「イベント情報」の投稿フォームを作成。各活動団体が直接更新できる新たにブログも開設。まずは札幌の人に知ってもらうため、札幌の人がよく閲覧するブログサイト(100マイル)を選択。アクセス率も多く効果的な周知方法であるため今後も積極的に情報発信に協力していきたい。		2
		南札幌エリア フリーペーパー「SAN」の情報発信の協力	平成24年7月	札幌市	「SAN」は、東海大学の学生が取材・作成する情報誌でPRを協力。シーニック関係も含め地域情報が満載であり、今年度発行した第5号はネット配信となった。		3
		「札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2013」の作成・配布協力	平成24年9月～平成24年2月頃	札幌市、札幌開発建設部	ルート内の魅力的な景観や集客施設を集めたカレンダーを15,000部作成。札幌市広報誌でのPR、公共施設での配布協力を行った。		4
		ルート「ロゴマーク」の作成協力	平成24年7月～3月末 (現在作成中)	札幌市	制作主体である札幌市立大学との調整及びロゴマークの使用規定等のアドバイスをを行った。		5
		地下歩行空間「シェルフ・バイウェイ」を活用したルートの活動PR協力	通年	札幌開発建設部	スタンプラリーや雪あかりのちらし配布・ポスター掲示のほか、各活動団体の取り組みをPRした。		6
		地下鉄真駒内駅へのシーニック情報専用掲示板を活用したPR	通年	札幌市	札幌市(南区役所)が地下鉄真駒内駅に設置した札幌シーニック専用情報掲示板を活用してPRを行った。		7
		地下鉄及びJR車内中吊り広告掲示	通年	札幌市	1月中旬の約1週間、中吊り広告を展開。札幌市交通局との調整を行った。		8
		広報さっぽろ南区版H24年8月、12月、H25年1月号での紹介	平成24年8、12、平成25年1月	札幌市	広報さっぽろ南区版で札幌シーニックバイウェイの取り組みを紹介した。		9
		災害対応道路規制情報提供の発信	平成24年5月中旬～	札幌市、札幌開発建設部	中山峠の通行止めにおいて、ルートと協力し情報提供のためのチラシを作成。地下鉄真駒内駅の掲示板やHPなどで情報発信した。(札幌開発建設部から感謝状を授与した)		10
		各地区による沿道花壇の整備	随時 (春～夏頃)	札幌道路事務所、札幌市	植栽花苗の提供(国道)、活動PR		11
		『石山スノーファンタジー』PR・参加協力(雪あかりイベント)					12
		『真駒内地区ふれあい雪あかり』PR・参加協力(雪あかりイベント)					13
							14

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
景観	<テーマ> 「札幌の玄関口にふさわしい魅力あふれる景観づくり」 <活動方針> ・眺望の優れた場所の整備と活用 ・広域的な花街道づくりとPR ・広域的な幻想空間の創出とPR	『藻岩地区アイスキヤンドル』PR・参加協力(雪あかりイベント)	平成24年12月～2月上旬	札幌市、札幌開発建設部	札幌駅前通地下歩行空間でのポスター掲示やちらし配布、HPでの紹介、行政連絡会議関係機関への開催周知、シーニックバイウェイ支援センターへの情報提供及びHPでの広報依頼など活動PR。キャンドル点灯等の手伝いやイベント参加。	・札幌開発建設部としては、昨年度開通した地下歩行空間を拠点に、市内、道内、道外からの観光客をターゲットに、札幌都心部において年間を通じてルートの認知度向上のためのPR活動を積極的に実施した。 ・また、行政連絡会議の発足を機に、関係行政機関にヒアリングを実施し、活動内容と関係機関との連携可能性を探り、情報共有を図り、今年度は雪あかりの取組においてPR支援にむけて調整を行った。他、今後の連携にむけて随時情報共有を行っている。 ・これまでもルート支援の中心的役割を担ってきた札幌市南区役所では、HPや広報誌、新聞等報道機関の活用、カレンダーやバッジなどPRグッズの開発、PRイベントの実施に協力し、活動団体と連携を密にしながら地域に根ざした情報発信を積極的に行った。地域内を中心にルート認知向上をはかり、地域の人々の理解と関心を深めるために積極的に支援を行った。地域活動への支援体制としては雪あかりの取組をはじめとする人的協力(活動参加・連携協力)も継続実施している。他、地下鉄真駒内駅でのルートの情報発信の支援も行っている。	19	
		『南沢地区冬まつり』PR(雪あかりイベント)					20	
		『スノーフェスティバルin澄川』PR・参加協力(雪あかりイベント)					21	
		『定山溪温泉雪灯路2013』PR・参加協力(雪あかりイベント)					22	
		『藻岩下やさしい雪あかり』PR・参加協力(雪あかりイベント)					23	
		『芸術の森地区「雪あかりの祭典」』PR・参加協力(雪あかりイベント)					24	
		『南沢ラベンダーまつり』PR	平成24年7月上旬	札幌市、札幌開発建設部	活動PR支援		25	
		「地域で育む美しいまちづくりフォーラム」PR	平成24年12月18日(火)	札幌開発建設部	開催前の準備等の手伝い、活動PR支援。		26	
		地域の景観資源の発掘とPR	—	—	—		27	
地域	<テーマ> 「自然・歴史・文化を伝え、いきいきと暮らせる地域づくり」 <活動方針> ・環境の保全と活用 ・おいしく安心な食材のPR、地産地消の推進 ・交流と賑わいの創出 ・多様な媒体を活用した情報の発信 ・歴史、文化の紹介 ・健康で安心して暮らせるまちづくり	『ラブアース・クリーンアップin北海道2012』参加における活動PR	平成24年4月～11月	札幌市	活動PR支援(HPで情報発信)		29	
		商店街との連携による取り組み『札幌南オータムフェスティバル』PR	平成24年9月上旬～	札幌市、滝野すずらん丘陵公園事務所	イベント開催にあたり、ちらしの配布等PR、場所の提供、備品の貸し出し等の協力・支援。		30	
		自然散策、森林浴	—	—	—		31	
		農業体験、果物狩り	—	—	—		32	
		『もりの仲間のごまおか朝市』PR	春～秋期間(5～11月上旬頃)	札幌市	活動PR支援		33	
		『ショッパーズ石山朝市』PR					34	
		『もいわした朝市』PR					35	
		『森の朝市』PR					36	
		芸術の森地区の環境保全等の事業	—	—	—		37	
		八剣山周辺のレンタサイクル事業	—	—	—		38	
		地域特産物を活かした賑わいづくり	—	—	—		39	

5. 平成22年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート	報告者:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	報告年月:2013/1/17
-------------------------------	--	----------------

平成23年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動等を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。	○多様なツール、手法によるPR活動 ・ルートブログ> より多くの人へ向けた観光情報の一つになるようルート活動を周知するため、昨年度新たに開設したブログは、イベント実施がとくにない日も各施設の様子などを発信し、更新頻度をあげることで、アクセス数も増加した。 ・ルートホームページ> これまでのルートホームページをリニューアルし、地域の活動や資源紹介の他、地域の顔がみえ・声が届くような情報発信(動画を取り入れる)をめざし、地域住民には地域により愛着を持ってもらえるよう、区外からの来訪者にはルートに親しんでもらえる(ルートのファン)ようなものを作りたい。(※HPは現在作成中) ○ブランドの形成 ・ロゴマーク> 「シーニックの取り組みを知ってもらう」ことには、文字だけでなく、わかりやすい表現が必要と考え、ロゴマークを作成。デザインテーマはルート全体、デザイン案は札幌市立大学内で公募、デザイン作成も市立大学学生により制作。完成後は、ルート内の様々な箇所で見られるよう、マークを有効的に活用したい。(※現在作成中) ○地域への浸透 ・スタンプラリー／カレンダー> 今年で4回目となる「スタンプラリー」を実施した。チラシの配架箇所も増え、応募者の数も増えているため、ルート内の施設・景観資源等の認知度も上がっているように考える。⇒その結果、シーニックの活動についても認知度が高まっているように考える。また、昨年ルート認定記念に作成したカレンダーが大変好評であったため、今年はカレンダー作製委員会を設置し、区内を中心に15000部配布した。 ○地域ビジネスの展開 ・地域アンテナショップ「サロス」> 国道沿いからも見える場所にある空き店舗を有効的に活用し、地域の特産品の販売や区内のイベント、シーニックの活動の紹介などを発信していくアンテナショップ「サロス」を、ルートメンバーで開店。(※2月オープン予定) ○ルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化 当ルートでは様々な活動を行っているところではあるが、ルートの基盤強化には地域の若手を取り込んでいくことが重要であると考え、今後の課題点と考える。また、支援体制としては、南区役所が事務局的な形で協力いただいているが、今後は行政連絡会議や推進協議会、支援センターとも情報共有を図り、連携しながら取り組んでいきたい。	

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

平成23年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動等を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。	・札幌駅前通地下歩行空間「シェルフバイウェイ」において、ルート内のイベントや、ルート全体実施する取組(オータムフェスタ、雪灯りなど)のポスターやちらしの配布など情報発信を行った。 ・中山峠が土砂崩れにより通行止めとなった際、ルートと協力し、ポスター及びチラシを作成した。区内外の方々にリアルタイムで、適切な情報発信と迅速な対応が評価され、札幌開発建設部長より感謝状を贈呈された。 ・支援体制の強化については、行政連絡会議等での関係各機関の協力を得、ルート活動の情報発信の協力の他、助成金等の情報提供などが必要と考える。	